

## 한통련 뉴스레터

제45호

発行:在日韓国民民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284  
メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

## 정세 情勢

## ●韓米日首脳会談、韓米日軍事協力から実質的な韓米日軍事同盟へ…朝鮮半島と周辺地域でさらに高まる軍事緊張



13日、プノンペンで開催された韓米日首脳会談

## 尹大統領、東南アジア歴訪

尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領は11月11日にカンボジアのプノンペンを訪れ、韓国・東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議やASEANプラス3(韓中日)首脳会議、東アジア首脳会議(EAS)などに出席した。13日午後には韓日、韓米、韓米日首脳会談に臨んだ後、インドネシアに移動し、14～15日にはG20(主要20カ国・地域)各国の経済団体や企業によるビジネスサミット(B20サミット)やG20首脳会議(サミット)などに出席した。韓中首脳会談は歴訪最終日の15日に行われた。

## 韓米日3カ国首脳会談

首脳会談を行った尹大統領とバイデン米大統領、岸田文雄首相は「一層緊密な3カ国連携を強固にしていくことで一致した」として、共同声明「インド太平洋における3カ国パートナーシップに関するプノンペン声明」を発表した。朝鮮の核・ミサイル開発を踏まえ、韓日への米国の「核の傘」提供を含む拡大抑止強化やミサイル情報の即時共有を明記。安全保障分野の連携構築も打ち出した。バイデン大統領は「韓米日の協力はかつてないほど重要だ」とし、「韓国と日本に対する米国の防衛公約は揺るぎない。核を含むあらゆる

防衛力で後押ししている」と強調した。

中国について名指しは避けながらも、「包摂的で強じんて安全な、自由で開かれたインド太平洋」を追求するとし、「政府のあらゆるレベルで3カ国の形式で協働する」方針を示した。「台湾海峡の平和と安定の維持の重要性」にも言及した。また、ウクライナへの支持を示し、「ウクライナの領土の一体性と主権の即刻回復を促す」と求めた。一方、3カ国は経済安全保障に関する協議体の新設で合意。声明では安全で回復力のある供給網の構築や重要・新興技術を巡る協力強化などを明記した。

朝鮮中央通信によると崔善姫(チェ・ソニ)外相は17日、談話を発表。韓米日が拡大抑止強化で合意したことを非難し、「情勢をさらに予測不可能な局面に追い込む」などと警告した。グローバルタイムズ(中国・人民日報の姉妹紙・環球時報の国際版英字紙)は14日、韓米日会談結果について「アジア版NATOを注視すべき」との警戒論が中国で浮上していると伝えた。

## 歴訪めぐりと与党は自賛・野党は批判

尹大統領の今回の歴訪について、与党「国民の力」の鄭鎮碩(チョン・ジンソク)非常対策委員長はフェイスブックに「文在寅(ムン・ジェイン)政権の5年間、韓米同盟が生きていたか。韓米同盟は名前だけだった」として、「韓国の外交も正常化の道に入った」と評価した。一方、第一野党「共に民主党」の朴洪根(パク・ホンゴン)院内代表は16日の最高委員会議で、「韓日首脳会談では歴史問題に関するいかなる進展もなく、日本の謝罪の一言もない軍事情報包括保護協定(GSOMIA)の修復は屈辱的」と批判した。

国防部のムン・ホンシク副報道官は14日の定例会見で、韓米日首脳が朝鮮のミサイル発射情報

を即時共有する方針を確認したことについて、「3カ国が協力すれば、より正確なミサイル情報の共有が可能になる」と評価し、「(情報共有に関する)議論は3カ国すべてにとって利益になる方向で行われる」と説明した。

大統領室関係者は16日の記者会見で、韓日首脳会談について、両首脳が日本による植民地時代の韓国人徴用被害者への賠償問題を早期に解決することで一致し、意気投合したとの認識を明らかにした。また、政府の外交が米国一辺倒だとする批判には「同意し難い」と述べ、「中国と十分な外交を行っている」と反論した。

## 韓国版インド太平洋戦略

尹大統領は韓国・ASEAN首脳会議で自由・平和・繁栄を3大ビジョンとする「韓国版インド太平洋戦略」を発表した。これは韓国政府初の地域外交戦略だという。米国が中国けん制を念頭にした「インド太平洋戦略」を打ち出す中、米国との共同歩調を明確にしたものだ。韓国政府は反論するが、プノンペン声明とあわせて米国に同調した外交だと指摘せざるを得ない。

## 実質的な韓米日軍事同盟へ

韓国大統領室によると、韓米日3カ国の首脳による包括的な内容が盛り込まれた共同声明の採択は今回が初めて。米国が韓日に提供する拡大抑止策をめぐり核を含んだ防衛力の提供を明言したことは、崔外相の発言に示されるように朝鮮を強く刺激し、朝鮮半島と周辺地域の軍事緊張をより高めることになる。また、韓米日が収集した朝鮮のミサイル警戒情報をリアルタイムで共有することで合意したことは、事実上、韓日間のGSOMIAをなし崩し的に「正常化」したものであり、韓米日軍事協力を実質的な韓米日軍事同盟へと進展させる道を開いた。

## 尹大統領の「国益重視」

尹大統領は「外交の原則と基準は国益」だとし、国益重視を強調する。しかし、「米国への追従」「朝鮮との対決」「日本との協力」姿勢で貫かれたこうした外交が決して国益に符合しないのは明らかだ。

## ●尹政権、「偽ニュース」偏向報道と騒ぎ立てMBCを弾圧…メディア団体、尹政権を厳しく批判



ぶら下がり取材後、執務室に向かう尹大統領

### 尹大統領、ぶらさがり会見を中止

尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領室はMBC(文化放送)が偏向報道を繰り返しているとして、尹大統領の先の東南アジア歴訪で同社記者の大統領専用機搭乗を認めなかった。尹大統領は11月18日、出勤時のぶら下がり取材(記者団が大統領を囲んで実施する取材)で、搭乗を拒否した理由について、MBCが「偽ニュースで韓米同盟を離間させようとする悪意のある行動に対する大統領の憲法守護責任の一環」と述べた。これに対しMBCの記者は「MBCが何を悪意的にやったのか」と質問。大統領室秘書官が同記者に対し大統領に失礼だと指摘すると「質問もできないのか」と言い返し、舌戦が繰り広げられた。

尹大統領は21日午前9時過ぎ、大統領室庁舎に到着すると、記者団のぶら下がり取材に応じることなく、まっすぐ執務室に向かった。この直前、大統領室報道官室はぶら下がり取材を中止するとメディアに告げ、18日の件を念頭に「最近

発生した好ましくない事態に関し、根本的な再発防止策を講じずには続けることができないと判断した」と説明した。これまで取材が行われてきた庁舎1階ロビーには前日、合板の間仕切りが設置され、取材が中止されるとの見方が出ていた。

### メディア団体、尹政権を批判

韓国記者協会は21日、尹大統領がぶらさがり会見に応じなくなったことについて、「担当記者同士を仲違いさせ、あつれきを誘発しようとする試みを直ちに中止しろ」とする声明を発表。記者協会は大統領室側の説明について、ぶら下がり取材中止の責任をMBCに押し付けるものと非難した。また、ぶら下がり取材中止に先立ち、大統領室が担当記者団の幹事らと連絡を取り、MBCへの懲戒について意見を聴取したとし、「このような大統領室の対応は政府を批判するメディアへの攻撃と映るだけでなく、メディアを手なずけようとする意図が見受けられる」と指摘した。

一方、大統領室秘書官と舌戦を繰り広げたMBCの記者を殺害するとの脅迫がネット上に書き込まれ、警察が捜査に着手した。警察によると、書き込みは21日午前に極右系のオンラインコミュニティに投稿された。投稿者は、この記者が大統領室秘書官と舌戦を展開したときの映像から切り取った写真とともに「すぐにMBCを訪れ殺す」と書き込んだ。警察は捜査を進めるとともに、脅迫を受けた記者の身辺保護措置も取っている。記者協会などメディア6団体は23日、「民



主主義を脅かす白色テロ扇動をやめろ」とする共同声明を発表。6団体は「白色テロ脅迫扇動の責任は明らかに大統領室にある」とし、「大統領と与党は特定のメディアと記者に対する不当な弾圧をすぐさま中止しろ」と要求した。6団体の代表らは25日、尹大統領との面談を求めた。

### 「偽ニュース」とは

尹大統領は国連総会に出席するため訪問したニューヨークで9月21日、バイデン米大統領主催の会合に出席した後、「国会でこの野郎どもが承認してあげなければ、バイデンは赤っ恥だ」と下品な言い回しで話しているように聞こえる映像がカメラに捉えられ波紋を呼んだ。大統領室は「バイデン」ではなく発音が似た別の言葉を話しただけで、「国会」は米議会ではなく韓国議会のことだと釈明。尹大統領は記者団に「事実と異なる報道で同盟を傷つけることは国民を危険に陥れる」とし、「(事実と異なる報道が出た)真相などをはっきりさせなければならない」と述べていた。「偽ニュース」とはこの件を指している。

### 強圧的で拙劣な尹政権

今回の事態の発端である「偽ニュース」に関連して、尹大統領が「事実と異なる報道」とするならば、尹大統領自身が事実、すなわち発言内容を

明らかにしなければならない。大統領室が釈明する必要もなく、発言内容は発言者が最もよく知るところであるのは間違いない。そのことに蓋したまま、特定メディアに責任を転嫁し、搭乗拒否と取材拒否、さらには懲戒だと騒ぎ立てて締め出すとするのは、あまりにも強圧的で拙劣な対応だ。MBCに対する弾圧は全体に広がりながら、国民の目と耳、そして口を封じることにもつながりかねず、見過ごすことはできない。国民が憲法で保障された「言論の自由」を守り抜かなければならない。



メディア6団体の代表らが記者会見を開き、尹大統領との面談を要求

## 활동보고 活動報告

### ●大阪本部がセミナーを開催…国家保安法問題を学習



報告する金昌範副代表委員

韓統連大阪本部は11月20日、大阪市生野区のKCC会館で韓統連セミナー「シリーズ『ウリ現代史』」第4回「国家保安法をなくすために」を開催した。

金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶。「韓国では民主化が進んでいるが、悪法中の悪法である国家保安法は未だに存在している。国家保安法をなくすためにはどうしたらよいか、報告と討論を通じて認識を深めよう」と語った。

崔誠一(チュ・ソンイル)事務局長が10月25日から28日までソウルで開催された在日同胞招請事業「分断に立ち向かった人々、在日同胞との同行」を報告。招請事業について「国家人権委員会などに対して韓統連の反国家団体規定の不当性や、解決のための課題として国家保安法撤廃を直接訴えたことは大きな成果」と評価した。

金昌範(キム・チャンボム)副代表委員が国家保安法について報告。同法の制定や問題点について解説するとともに、歴代独裁政権が国家保安法を悪用し民主・統一団体および人士を弾圧してきた事例を詳しく解説した。

金副代表委員は「盧武鉉(ノ・ムヒョン)政権時代に国家保安法撤廃の気運が高まったが、保守勢力の猛反発などによって撤廃には至らなかった」と指摘。「国家保安法撤廃の根拠となる南北交流、統一運動を公開的に堂々と続けることなしには、国家保安法を維持しようとする勢力には打ち勝てないだろう」と、南北交流と統一運動の重要性を訴えた。

## ●名古屋で講演会「ウトロからレイシズムを問う」開催



講演する中村氏

11月20日、名古屋市内で「ウトロからレイシズムを問う」と題して、ジャーナリストの中村一成（イルソン）氏の講演会が開催された。主催は「韓国併合100年東海行動」、「民族教育の未来をともにつくるネットワーク愛知」、「ととりの会」。

中村氏は2000年から京都府宇治市宇登口（ウトロ）取材。ウトロ朝鮮人集落の変遷と80年代後半からの住民の強制退去反対の闘い、2

004年の韓国政府の予算計上も含めた土地の買い取りと公営住宅建設までの経緯を見つめてきた。

昨年発生した放火事件に対して中村氏は「22歳の男性が逮捕され4年の実刑が確定したが、犯人は一貫してネット情報により『朝鮮人が嫌い』『朝鮮人に恐怖を与える』などと語っており、典型的なヘイトクライム（差別的動機に基づく犯罪）である。植民地支配への反省もないまま在日朝鮮人に対する差別は戦後一貫して続き、今回の事件のようなレイシズム（人種差別主義）として温存されてきた」と語った。

ヘイトスピーチなどへの対応については「自治体で『ヘイトスピーチ禁止条例』が採択されているが、罰則規定がないなど問題も多い」と解説。差別解消の課題として①包括的な人種差別撤廃法の制定②「平等」と「異化」を認める「共生」社会に向けた取り組み③各地での差別反対の運動をあげた。

※参考図書 「ウトロ ここで生き、ここで死ぬ」（中村一成著 三一書房）

## ●兵庫で「第13回ハナ・マダンあまがさき」開催…雨天の中盛況



「ウリエソウォン」を合唱する参加者たち

11月23日、兵庫県尼崎市の尼崎中央公園で「第13回ハナ・マダンあまがさき」が開催された。主催は韓統連兵庫本部、韓青兵庫県本部が中心となった同実行委員会。当日は雨天にもかかわらず多くの在日同胞、地域住民が参加した。

ステージ公演ではオープニングで初参加のKIS（コリア国際学園）ダンスグループが華麗なダンスを披露。ちゃんへん. さんのジャグリングパフォーマンスや川口真由美さんの歌、バンド演奏や歌の披露などが続き、会場はおおいに盛り上がった。

実行委員会を代表し秋龍（チュ・ヨン）実行委員長が主催者挨拶。秋委員長は「現在、朝鮮半島

情勢では心配なニュースが多いが、わたしたちは南北合意を支持し、朝鮮半島の統一にむけて前進していきたい。」と語った。また、11月20日の尼崎市長選挙で初当選を果たした松本真市長も会場にかけつけ、激励挨拶した。

韓青兵庫県本部は有志による漫才コンビ「カレコレ」による漫才を披露。会場企画としては在日同胞の歴史を学ぶ展示コーナーや統一問題を考えるクイズコーナーを実施した。

フィナーレで「ウリエソウォン（私たちは一つ）」を参加者全員で合唱。朝鮮半島の平和統一への思いを共有した。



ちゃんへん. さんのパフォーマンス



# 행사예정 行事予定

## 12月

### 時局講演会(大阪)

日時: 12月4日(日) 午後1時30分受付、2時開会 場所: KCC会館5階ホール 内容: 講演「新冷戦下における朝鮮半島情勢」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員 参加費: 1000円(青年学生は500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723(チェ)

### 韓統連愛知セミナー

日時: 12月4日(日) 午後1時30分受付、2時開演 場所: 名古屋市公会堂 第7集会室 内容: 講演「世界情勢の激変と朝鮮半島の平和」(講師: 康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表) 資料代: 1000円 主催: 韓統連愛知本部 連絡先: 090-3930-8815(キム)

### 韓統連広島セミナー2022

日時: 12月11日(日) 午後1時30分受付、2時開始 4時30分終了予定 場所: 広島市西区民文化センター 大会議室C 内容: 講演「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」(講師: 宋世一(ソン・セイル) 委員長) 参加費: 1000円 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993(ユン)

## 1月

### 「私はチョソンサラムです」広島上映とトークイベント

日時: 1月28日(土) 第1回上映 午後1時~2時40分 トーク 午後2時50分~4時10分 第2回上映 午後4時30分~6時10分 場所: 広島県立美術館講堂 内容: 映画上映、トークイベント(李哲(イ・チョル) 在日韓国良心囚同友会代表、広島朝鮮初中級学校関係者) 料金: 前売1500円、当日1800円 主催: 映画「私はチョソンサラムです」広島上映実行委員会 連絡先: 090-7540-0

### ■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

#### 韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

#### 韓統連YouTubeチャンネル

[https://www.youtube.com/channel/UCg\\_8NZg52O1VTAMigrXfqjQ](https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMigrXfqjQ)

#### 韓統連Instagram

[https://www.instagram.com/korea\\_htr/?hl=ja](https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja)



韓統連YouTubeチャンネル



韓統連Instagram

先日はハナ・マダンあまがさきに参加してきました。あいにくの雨天でしたが、たくさんの方が参加され大盛況でした。毎年粘り強く活動し続けることで、マダンが地域に浸透していることのあらわれだと思います。あらためて実行委員会の皆様、スゴハシヨッスムニダ(お疲れ様でした)。(李)